

保育と音環境

— 赤ちゃんの声・耳について考えたことはありますか？ —



1. 趣旨

赤ちゃんや子どもはどのように声を発し、言葉を憶えていくのでしょうか？赤ちゃんや子どもの耳はどのような音を聴いているのでしょうか？大人と同じ？それとも違う？赤ちゃんや子どもがどのような音環境で暮らし、そしてどのように感じているのか。大人と同じように話すこと・伝えることができない赤ちゃんや子どもだからこそ、その立場になって考える必要があります。

昨年開催し、大好評だったシンポジウムを今年も金沢で開催します。音声や聴覚の専門家から音声生成や聴覚の発達についてお話いただき、子どもの話し方や音の感じ方、種々の特性を持った子どもたちのこころの発達について理解を深めたいと思います。また、今年は講演会だけでなく、ワークショップという形で、子どもたちが育つ保育施設の音環境について皆さまと一緒に学び、そして考え、赤ちゃんや子どもの声・耳を守る方策を一緒に考えていきたいと思っています。

2. 日程 2017年12月17日（日）13:30～17:40

3. 場所

石川県政記念 しいのき迎賓館 3階セミナールームB

アクセス：<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/about/access.html>

住所：〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1番1号

電話：076-261-1111

4. プログラム



13:30～13:40 開会挨拶：志村洋子（同志社大学 赤ちゃん学研究センター）

講演会

13:40～14:10 「子どもの『聞く』と『しゃべる』の話題」

荒井隆行（上智大学 理工学部）

14:15～14:45 「人工内耳装用児のコミュニケーションと

アイデンティティの発達」

荒木友希子（金沢大学 人間社会学域人間科学系）

14:50～15:20 「乳幼児の日本語音声の知覚・生成発達」

麦谷綾子（日本電信電話株式会社

NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

（裏面へ）

ワークショップ

15:30-17:30 「音から考える保育環境づくり」
上野佳奈子（明治大学 理工学部）

17:30-17:40 閉会挨拶：土田義郎（金沢工業大学 環境・建築学部）

5. 入場料等

入場無料

申込優先（当日参加も可能です。）お申し込みは、下の QR コードからサイトへ！

お子さん連れでの聴講を歓迎します。託児所はございませんので一緒にご参加ください。

6. 開催者

主催：日本音響学会北陸支部

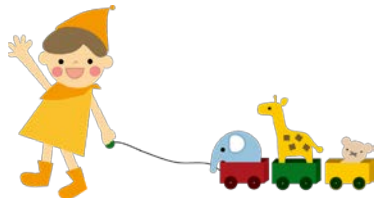
問い合わせ先：木谷俊介（北陸大学）

電話：076-229-6130, E-mail：s-kidani@hokuriku-u.ac.jp

共催：北陸大学、同志社大学赤ちゃん学研究センター

後援：石川県、日本赤ちゃん学会

協力：日本建築学会子どものための音環境 WG



QR コードをスマホなどで読み込んでいただくことで、参加申込サイトにアクセスできます。